

## 例大祭での祭典・神輿渡御神事・直会等の反省点

- 各御旅所での接待において、神輿の担ぎ手がメインであるので、担ぎ手以外の総代等は、少なくとも御旅所祭の所までは飲み食いを控えるべきである。
- 総代並びに神社関係者に関して、祭典が終わってから、神輿の御旅所祭の所（大休憩所）まで、かなり時間があり、そこまで食事を我慢するのは大変なので、神輿宮出し前に助六とかサンドウィッチを食べるようにしたらどうか。
- 警察官への手土産は、個別に渡しても先方が困るので、例えばペットボトルのお茶を2～3箱渡した方がいいのではないか。
- 神輿宮入り後、関係者の胴上げであるが、担ぎ手に酒が入っている状態での行為は、非常に危険であり、慎むべきことである。
- 今回に限らず、祭典参列者の受付がいつも混乱するので、すべての神事において下記の通りにしたらどうか。
  - ① 事前に係を決める。
  - ② 事前に係毎の役割を神社側が説明して、全員が係の役割の共通認識を持つ。
  - ③ 当日、再度やることの確認をし、本番の神事に臨むこと。
- 手土産を確実に手渡しできるように徹底させてほしい。  
今回は、担ぎ手の方への手土産はうまくいったと思うが、総代、宰領、随従への手渡しが不十分であったので、来年以降は下記の通りにしたらどうか。
  - ① 例大祭の祭典中に、祭典後に帰られる方のお土産を授与所前に並べて置き、係を決めてその場所で手土産を手渡す。
  - ② 神輿渡御神事時の留守番が、宮入後に帰られる方のお土産を授与所前に並べて置き、係を決めてその場所で手土産を手渡す。
- 当日の朝、授与所に神職が誰も居ないので、御朱印等の対応ができなかったため、必ず一人は神職が授与所に詰めるようにしてほしい。
- 事前の説明がなく、受付でのリボン渡しなどが手間取った。

- 例大祭の参列可否のハガキのメ切をもう一週間程度早めたほうがいい。  
※一般郵便は、到着まで時間がかかるので
- 神輿渡御神事において、北部町内の交通量が少ないことも多くあり、警備的なところは比較的スムーズにいったと感じる。
- 担ぎ手も、前は身長差がかなりあって、背の高い人の負担が大きかったが、今回は、担ぎ手の人数も多かったのも、そういうことがなく良かったと思われる。
- 全般的にスムーズにいったと思う。
- 直会用のオードブルが多く余ってしまったので、二次会等で食べてもらったり、持ち帰ってもらったりしたので、来年からは分量を注意する。  
ビール等飲み物の本数的には、ちょうど良かったかと思う。
- 当日朝、手土産・神酒などの手提げ袋詰め作業をしたが、どうしても時間が不足するので、節分祭のテント設営等のように、少人数でよいので、事前準備をしたほうがよいと思う。
- 神輿渡御神事の最中に、直会準備などで抜けて、神社に戻るというのは如何なものかと思う。

以上